

2022年10月20日 第436号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に800人

統一協会と自民党の癒着究明！マイナカードと保険証の一本化反対！

軍事費より私たちの暮らしに税金つかえ！

総がかり行動実行委員会は10月19日夜、国会議員会館前で「統一協会癒着徹底追及！改憲発議反対！軍拡反対！いのちと暮らしをまもれ！10・19国会議員会館前行動」を行い、800人が参加しました。保険証を原則廃止し、マイナンバーカードに一本化するという問題が急浮上しています。安全保障関連3文書改定に向けての議論も始まっています。敵基地攻撃能力の保有反対、大軍拡ではなく私たちの暮らしや社会保障などのために税金を使えと声をあげ続けていきましょう。立憲民主党の近藤昭一衆議院議員、社民党の福島瑞穂参議院議員、日本共産党の井上哲士参議院議員があいさつ。沖縄の風からのメッセージが紹介されました。



憲法9条壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが主催者あいさつ。「安倍元首相の国葬反対では列島を揺るがすたかひになった」と指摘。「物価が高騰しているのに軍事費を上げる。私たちはそんなことのために税金を払っているわけではない。軍事費は私たちの暮らしに使うべきだ。臨時国会では改憲させない、軍事費を増やさせないためがんばりましょ

う」と呼びかけました。

非核市民宣言運動ヨコスカの新倉裕史さんは、自衛隊が米海軍主催の環太平洋合同演習「リムパック」で、密接な関係にある他国が攻撃を受けて日本の存立が脅かされる「存立危機事態」を想定した訓練を行ったことなどについて話し、「アメリカの戦争に参戦する訓練で、実践的に行われている。安保関連法が発動されている」と指摘しました。

反貧困ネットワークの瀬戸大作さんは、「若者の相談を受けているが、この後、所持金が20円という人の相談を受ける。『正規の仕事に就いたことがない。今までに一度も良いことがなかった。社会に期待していない』などの声が聞かれる。政治の責任は重い。国会は責任を果たせ。軍事費を増やしている場合ではない」と強調しました。

全日本民医連の山本淑子さんは、10月から始まった75歳以上の医療費窓口負担2割化や、コロナ禍での医療崩壊の実態などを話し「医療・介護をないがしろにしてきた政治の責任は重大。憲法をいかし、いのち・くらしを守るために税金を使う政治に転換させよう」と訴えました。

憲法共同センター共同代表の小田川義和全労連顧問が行動提起を行いました。

●東京・東久留米革新懇

統一協会問題講演会に55人 統一協会と自民党との癒着、被害の実態



10月16日、東久留米革新懇は、統一協会問題講演会を開き、会場いっぱいの55人が参加しました。社民党の青木祐介市議会議員、共産党の村山順次郎市議会議員が参加し、あいさつしました。

日本共産党の宮本徹衆議院議員（共産党の統一協会問題追及チーム事務局長、20区統一候補）は、「統一協会と自民党の癒着、被害の実態」

のテーマで1時間にわたって講演し、その後質問に答えました。「統一協会は宗教を装った反社会的カルト集団、自民党と深く結びついた反共謀略集団である。2009年に『違法献金は今後しません』と表明したにもかかわらず、信者はいまだに、今年183万円の献金を迫られている」と言及。「統一協会の被害の根絶、解散命令の請求、救済の立法措置、相談窓口、大学でのカルト対策が必要である。自民党は党として責任をもった調査を行うべきである。行政がゆがめられた疑惑の徹底究明が求められている」と話しました。（東京革新懇 mailfax ニュースNo.1309より）

当面の行動

10月26日(水) 総がかり行動 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口

11月3日(木・休) 総がかり行動 11・3憲法大行動 14時～ 国会周辺

15時15分～エリア集会 **憲法共同センターは国会図書館前**

11月9日(水) 憲法共同センター「9の日」宣伝 12時～ 新宿駅西口

11月11日(金) 総がかり行動 ウィメンズアクション 18時～ 有楽町イトシア前

11月19日(土) 総がかり行動 19日行動 14時～ 国会議員会館前